



作曲家・マルチサウンドクリエイター & パフォーマー
楯 直己 Naoki Tate

作曲家、マルチサウンドクリエイター&パフォーマー。

空間全体を作品として体験させる「サウンド・インスタレーション」を得意とし、音で空間を紡ぎ出し、響きの舞台美術を創作する。

空間音楽～Ambient Voice Scapeと呼ぶ独自のサウンドは、100種類以上に及ぶ世界中の民族楽器と、日常にありふれた様々なものから作り出される音に、最新のテクノロジーを駆使したプログレッシブ・サウンド、そしてヴォーカルを楽器として融合し、国境やジャンル、時代を越えて生み出される。



時に自然的で、時に宇宙的な響きは異空間を感じさせ、その時空を超えた音楽の世界観は聴く人たちを魅了している。

現在まで、NHK-Eテレ『てれび絵本』、『からだであそぼ』、JAXA(宇宙航空研究開発機構)『遙かなる月へ～月周回衛星「かぐや」の軌跡～』(受賞作品)、航空自衛隊『ブルーインパルス』演技飛行オープニング曲、NHKや総務省などのドキュメンタリーシリーズをはじめ、映像、舞台、アーティストへの楽曲提供など、幅広い分野で音楽を手がける。



ソロアーティストとして2015年に活動を開始。同年、アルバム『SUNRISE』、アルバム『The Voice of the Earth』をリリース。2017年にはミニアルバム『桜鏡の響』をリリースする。近年では、日本野鳥の会との共同制作による空間音楽作品『愛の織物』『空～三部作～』(詩文:安藤康弘)を発表。

2020年1月、『羽生結弦プログラムコンサート』(国際フォーラム ホールA)に参加。

2020年5月、宮崎国際音楽祭「パーカッション・スペース 宇宙の音 大地の声」への出演予定であったが、新型コロナウィルス感染拡大の影響で中止となる。

2020年4月よりFacebookソロライブ配信(毎週火曜20時～)を開始する。

地球のネイティブな音と響鳴し、未来の音楽を探求している。